

テーマ：聖書の教えている霊的リーダーとはどのような存在か

【歴史的背景】

※1 テモテ 1:3-4

「私がマケドニヤに出発するとき、あなたにお願いしたように、あなたは、エペソにずっととどまっていて、ある人たちが違った教えを説いたり、果てしのない空想話と系図とに心を奪われたりしないように命じてください。そのようなものは、論議を引き起こすだけで、信仰による神の救いのご計画の実現をもたらすものではありません。」

●監督とその資格：必要不可欠なもの

○監督とその資格①：非難されるところのない(2a)

1. 定義

※1 テモテ 6:14(cf. 5:7)

「私たちの主イエス・キリストの現れの時まで、あなたは命令を守り、傷のない、非難されるところのない者でありなさい。」

※1 ヨハネ 1:8

「もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。」

2. 重要さ

1 ペテロ 5:2-3

「あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを、牧しなさい。強制されてするのではなく、神に従って、自分から進んでそれをなし、卑しい利得を求める心からではなく、心を込めてそれをしなさい。あなたがたは、その割り当てられている人々を支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。」

※テトス 1:7

「監督は神の家の管理者として、非難されるところのない者であるべきです。わがままでなく、短気でなく、酒飲みでなく、けんか好きでなく、不正な利を求めず、」

※ピリピ 2:14-16

「すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行いなさい。それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中であって傷のない神の子どもとなり、いのちのことばをしっかり握って、彼らの間で世の光として輝くためです。…」

※詩篇 90:8

「あなたは私たちの不義を御前に、私たちの秘めごとを御顔の光の中に置かれます。」

※伝道者の書 12:14

「神は、善であれ悪であれ、すべての隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからだ。」

● どうすれば非難されるところのない者として成長できるのか？

a) 罪を _____、 _____ こと

※2 コリント 7:10

「神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。」

※詩篇 32:1-4

「幸いなことよ。そのそむきを赦され、罪をおおわれた人は。幸いなことよ。主が、咎をお認めにならない人、その靈に欺きのない人は。私は黙っていたときには、一日中、うめいて、私の骨々は疲れ果てました。それは、御手が昼も夜も私の上に重くのしかかり、私の骨髄は、夏のひでりでかわききったからです。」

※2 サムエル 12:13

「私は主に対して罪を犯した。」

※ヘブル 12:5-6

「そして、あなたがたに向かって子どもに対するように語られたこの勧めを忘れていません。「わが子よ。主の懲らしめを軽んじてはならない。主に責められて弱り果ててはならない。主はその愛する者を懲らしめ、受け入れるすべての子に、むちを加えられるからである。」

b) _____ によって心を満たすこと

※詩篇 1:1-2

「幸いなことよ。悪者のはかりごとによらず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もおしえを口ずさむ。」

※詩篇 119:11

「あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。」

3. 適応

※1 コリント 9:27

「私は自分のからだを打ちたたいて従わせます。それは、私がほかの人に宣べ伝えておきながら、自分自身が失格者になるようなことのないためです。」

※2 コリント 7:11

「ご覧なさい。神のみこころに添ったその悲しみが、あなたがたのうちに、どれほどの熱心を起こさせたことでしょうか…」